

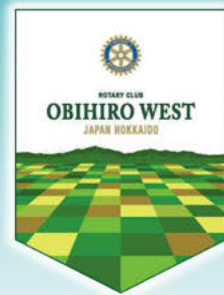


帯広西ロータリークラブ

第2499回例会

会報

2024.11.7



■RI第2500地区スローガン■

■クラブ・テーマ■

ロータリーに参画しましょう！
誰かのために、あなたのために、自分のために

「出会い」「気概」「熱意」

11月誕生祝

林 文昭 会員	1947.11.22
茨木 雅敏 会員	1951.11.25
若林 剛 会員	1956.11.19
太田 豊 会員	1961.11.22
辻田 茂生 会員	1962.11.10
菊池 俊博 会員	1973.11.10
梅田 和志 会員	1977.11.12



るのがとても待ち遠しかった思い出があります。12月になると子供たちのために父兄が小学校のグラウンドにフェンスを立て、夜中に水まきをしてリンクを作って、朝から晩まで練習をしておりました。そういった環境を与えてくれた親にとっても感謝しておりましたし、その期待に応えようと練習に励んだ記憶があります。今、子供にもアイスホッケーをやらせていますが、そういった親に対する感謝があるか疑問に思う時があります。

11月結婚祝

渡部 省一 会員	1972.11.25
深澤 知博 会員	1983.11. 3
石原 英樹 会員	1984.11. 3
松田 貴史 会員	1994.11.22
會田 誠 会員	2008.11.11
所 輝泉 会員	2009.11. 1



また、11月7日は語呂合わせで《いい鍋の日》や《いい女の日》と言われているそうです。寒くなってきましたので、いい女性と一緒に温かい鍋をつつついてみてはどうでしょうか。

それでは乾杯したいと思います。今月7名の誕生祝いの方、6名の結婚祝いの方、おめでとうございます。乾杯！

乾杯

千葉 清秀 会員

皆さん、こんにちは。乾杯ということで指名受けましたので乾杯させていただきます。本来なら委員会メンバーの先輩方に乾杯して頂く予定でしたが、皆さんにお断りされまして、大変恐縮なんですけど私で乾杯させていただきます。



11月という事で今年も残すところあと2ヵ月となりました。今年を振り返りますと、RC活動ではペッツ・地区協、ガバナー公式訪問のセクレタリー、地区大会とイベントがめじろ押しでしたが、終わってしまえばあっと言う間だったなと感じており、また、いい経験だったなと思っております。

本日11月7日は立冬となっており、暦の上では本日から冬となっております。冬の兆しが見え始める日だそうです。帯広では昨日雪が降りましたので確かに冬の兆しが見えています。

私はアイスホッケーをやっていた事もあり冬が来

会長報告

北川 勝啓 副会長

皆さん、こんにちは。本日、飯田会長出張のため代わりに会長報告させていただきます副会長の北川です。よろしくお願いいたします。



11月に入りまして、先ほど千葉会員の方からも立冬という事で寒くなってきました。今日は札幌の方で雪が積もっているという事で、こちら十勝の方ももうすぐ白い雪景色になるのではないかなと思います。

今月11月はロータリー財団月間という事で、本日このあと宮前委員長の方から卓話を頂く事になっておりますので宮前委員長よろしくお願いいたします。何を話そうかいろいろ考えたんですけど、昨日まで4,5,6日とゴルフ同好会の来年2月の春の遠征の地、和歌山県南紀白浜という所に私も視察と一緒に行ってきました。もともと佐藤会員が最原にしているホテルがありまして、そこに泊まりながらゴルフを



会長 飯田 正行 副会長 西藤 博行 会場監督理事 谷脇 正人 発行：広報委員会 (副)山村 かおり
幹事 平田 宗利 副会長 北川 勝啓 プログラム委員理事 辻田 茂生 委員長 菊地竜太郎 (副)金澤宗一郎



例会日/木曜日 12時30分～13時30分 例会場/北海道ホテル 帯広市西7条南19丁目1 (TEL 21-0001)
創立/1972年2月24日 事務局/帯広経済センタービル東館3階 TEL 25-7347 (直通) FAX 28-6033

して温泉に入って美味しい物を食べて、帰りにはいっぱいお土産まで頂いたという事で、その温泉は3種類か4種類位の温泉が湧いていて、3段階になって各階の温泉が違うという事で、その露天風呂は海に面してとてもきれいで心の洗濯になりました。まだまだ余裕があるみたいですので是非多くの方に参加して頂いて美味しい物食べて、アドベンチャーワールドもあります、可愛いパンダも見てこれましたのでお時間のある方は2月に是非一緒に南紀白浜の方に行きたくらいなと思います。

11月に入ってきました今月末位から忘年会とか、来年になると新年会という事で宴会やらいろんな会のお疲れ様会があって、その中で締め挨拶を任される方もけっこう多いんじゃないかと思えます。締めにもいろいろ種類がありまして、よく日本ハムファイターズがホームのエスコンフィールドで勝ったら一丁締め [イヨー、パン] 関東一本締めとも言われますけども、一般的に多く使われているのは一本締め [パパパン、パパパン、パパパン、パン] という事でパパパンを3回最後に1回で10回叩く。本来であると三本締めというのが一番本式の締めのように、本日参加された皆様、関わってくれた方、そしてその場に欠席された方に感謝を込めて手締めで締めるというふう聞いております。よく私たちの使っている一本締め、以前入会して一遍お話した事あるかもしれませんが、3回の拍手を3回やって9回叩きますと漢数字の九という字になります。最後に1回叩いて締めますと漢字の丸という字になります。その場を丸く収めるという意味があるという事です。という事で締まったかどうかわかりませんが会長報告させていただきます。ありがとうございました。

会務報告

平田 宗利 幹事

- ①帯広南RC、夜間例会開催のご案内
日 時 11月18日(月)午後6時30分
場 所 北海道ホテル
- ②帯広東RC、11月26日(火)の例会は、休会と致します。



帯広西RC、11月28日(木)の例会は、休会と致します。

帯広北RC、11月29日(金)の例会は、休会と致します。

③例会終了後、定例理事会を開催致します。

※株式会社オクトンの方から通達ございまして、国際ロータリー本部からの通達により今月11月から歯車に青色の文字の襟章の販売を終了しますという事で、新しい物になりますという案内が来ております。ただ、今までの襟章の着用については規制がありませんので、そのまま引き続きご愛用下さいという事で来ておりますので、特に買い替える必要はございません。という事でご報告いたします。

委員会報告

ニコニコ献金 親睦活動委員会 萱場 誠一 会長
北川 勝啓 副会長



本日、飯田会長欠席のため、代わりに挨拶させていただきます。

宮前 友江 ロータリー財団委員長

本日は担当例会です。宜しくお願いします。

石原 英樹 会員

国土交通大臣表彰を受章いたしました。業界発展の為さらに頑張ります。

天野 清一 直前会長

ゴルフ同好会最終例会で何と優勝させていただきました。久しぶり10年振りの優勝でした。ゴルフ同好会の例会も今年の会は無事終わりました。今年度もたくさん参加ありがとうございました。

鎌田 裕樹 会員

先週ゴルフコンペで真ん中賞をいただきました。

萱場 誠一 会員

同好会ゴルフで年間優勝しました。

ニコニコ	10月3日	13,000円
献金	累計	395,000円 (11月7日現在)

プログラム

「ロータリー財団の取組と寄付について」

ロータリー財団委員会 宮前 友江 委員長



皆さん、こんにちは。本日はロータリー財団の担当例会で「ロータリー財団の取組と寄付について」ご説明させていただきます。

長きにわたりロータリアンとして活動された諸先輩の方々には重々ご理解頂き、多くのご協力を頂いてる所ではございますが、本日は新入会員さんも増えている事と、ロータリー財団月間のため寄付の更なるお願いをしたいと思います。私

の稚拙な説明ですが20～30分おつきあい宜しくお願いいたします。不慣れなためここからは着座にてご説明させて頂く事をご了承下さい。宜しくお願いいたします。

ロータリー財団は皆様からのご寄付を世界各地での奉仕活動に役立てています。100年以上も前に創立されて以来ロータリー財団は教育の支援や持続可能な成果を生み出すプロジェクトに総額40億ドル以上の資金を提供してきました。一つ一つのご寄付により世界中の地域社会を少しずつ変えていくこと

ができます。組織としては国際ロータリーのロータリー財団は1917年に基金として発足し1928年に国際大会で《ロータリー財団》と名付けられました。1931年に信託組織となり1983年に米国イリノイ州の法令のもと非営利財団法人となりました。目的としてはロータリー財団は財団の法人設立定款と細則に従ってロータリー財団管理委員会が慈善的教育的目的のためにのみ運営するものとします。ロータリー財団の使命としてロータリアンが人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、環境保護に取組み、貧困を救済する事を通じて世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。ロータリー財団の標語は「世界でよいことをしよう」です。

奉仕活動に役立てるロータリー財団の寄付について三つ説明させていただきます。ロータリー財団は世界中の人々の生活を改善するために多様な活動を行っています。寄付には様々な形があります。一人一人が出来る範囲で支援することが大切です。財団の活動に関わることで地域や世界の課題解決につながります。財団の寄付としては年次寄付、恒久基金寄付、使途指定寄付などがあり一つ一つ支援が異なります。まず《年次寄付》についてお話しします。年次寄付は基盤となる支援です。使い道を指定せず幅広い活動に活用されます。ロータリー財団のプログラムや重点分野を支える主な資金源です。年次寄付は二つに分解されます。国際財団活動資金(WF)と地区財団活動資金(DDF)に均等に分けられます。国際財団活動資金は財団の管理のもとに、地区財団活動資金は地区の裁量のもとに使用されます。前回の例会でお話のあったグローバル補助金などの活用もあります。寄付の翌年度からプロジェクトに活用されます。3年後に全額使われます。続いて二つ目は《恒久基金寄付》これは長期的な影響を与えます。最低限のプログラム活動を継続し将来の新プログラム、またはプログラムの拡張を容易にするために基金として積立られます。投資による収益が蓄積されます。3年後から収益のみが使用されます。三つ目は《使途指定寄付》目的を持った支援です。予め使い道を決めて寄付するものです。ポリオ撲滅：ポリオ・プラスプログラムへの直接的な支援が可能です。水と衛生：きれいな水へのアクセス改善プロジェクトを支援できます。教育支援：識率向上や教育の質の改善に貢献できます。ポリオプラスが代表的な例となっております。寄付のまとめとしてロータリー財団への寄付には様々な種類があり多様な寄付形式となっております。自分の関心や目的に合った寄付方法を選択できます。継続的な寄付により長期的な活動が可能になります。

寄付はお金を取られるわけではありません。皆さんからの金銭的支援はロータリー財団を通してクラブ、地域の利用できる補助金に変わる、ポリオ根絶のための資金に変わる、誰かを助けるための資金に変わる、世界を変えるための資金に変わります。皆さんからの金銭的支援は皆さんにも大きな恩恵があります。一つは個人寄付では所得控除制度の適用、

二つめは個人寄付では税額控除制度の適用、三つめは法人寄付では損金算入限度額の増額。個人寄付では1と2のどちらかの選択が適用です。ご自身のためになります。以上の様にロータリー財団の多様な寄付形式の中、今年度ロータリー財団委員会としてはガバナー輩出クラブとして地区活動計画に即して力を入れていきたいと考えております。こちらは地区活動計画の小谷ガバナーの思いです。地区スローガンは「ロータリーに参画しましょう、誰かのために、あなたのために、自分のために」地区活動方針は五つ掲げられています。

一つ目に*女性がゼロクラブ ゼロを目指しましょう。DEI推進に力を入れています。二つ目に*年次寄付ゼロクラブ ゼロを継続しましょう。これは毎年1000ドル以上の寄付をして頂くポールハリスソサエティ、毎年100ドル以上の寄付をして頂けるポリオプラスソサエティの会員の増加です。三つ目に*奉仕活動経験ゼロクラブ ゼロを目指しましょう。(ポリオ根絶活動)四つ目に*ロータリーの公共イメージを認知し、更なる向上を目指しましょう。五つ目に*3年間の目標と計画を実施しましょう。ロータリー財団委員会としては2と3の活動方針を重要として取り組みたいと思います。そこでまず皆さんにはポリオについて(感染症としてよくご存知だと思いますが)簡単に説明させていただきます。ポリオは非常に感染性の高い病気です。特に5歳未満の子供が感染します。治療法はありません。安全なワクチンで予防できます。ロータリーとそのパートナー団体は世界中で25億人以上の子供にワクチンを投与してきました。ポリオの特徴として、感染経路は人から人へ感染し汚染水を通じて広がります。症状としては神経系を侵し人体の麻痺を引き起こす可能性があります。予防は安全なワクチンで予防が可能です。ポリオに関する事実は、先ほどもお話しした5歳未満の子供が最も感染しやすく安全なワクチンで予防が可能です。野生型ポリオウイルスの常在国は現在わずか2か国です。パキスタンとアフガニスタンになります。現在の課題としては、ポリオの常在国2か国が完全な根絶には至っていません。この2か国が根絶されない限り感染リスクがあります。ポリオが根絶されない限り世界中の子供が感染の危機にさらされます。予測としては根絶しない場合今後10年以内に年間発症数が20万件に上る可能性があります。それは根絶された我が国においてもポリオの危険が及ぶこととなります。

去る10月24日は《世界ポリオデー》でした。世界ポリオデーは初めてポリオワクチンを開発したチームを率いた米国の医学者ジョナス・ソークの誕生を記念して、ポリオのない世界を目指す国際ロータリーによって制定されました。【ポリオ根絶に向けて世界が一つに】世界ポリオデーはロータリー会員、公衆衛生分野のリーダー、ポリオのない世界を願う全ての人々が力を合わせ、ポリオ根絶活動の進展を祝うと共にポリオを永久になくすために行動を起こす機会です。

十勝毎日新聞は皆さんも読まれたと思います。ポリオ根絶活動周知を目的に国際ロータリー第2750地区直前ガバナーの宮崎陽一郎さんが3週間かけて根室の納沙布岬から長崎までの2800kmを自転車走破するチャレンジを通じて活動を広め、1000万円の寄付を目標に取り組みを行いました。宮崎さんは一昨年宗谷岬から鹿児島まで南北を自転車で走破する取り組みを行い、2000万円の寄付を集めました。目標額の2750万円に至らなかったことから、今回東西に横断するチャレンジを行ったそうです。10月1日根室を出発し2日には帯広に到着、豚丼でパワーを得て3日の朝、(当クラブよりも30名弱の会員が駆け付けられました) 激励を受けてホテルグランテラスの前から22日長崎到着を目指して日高に出発しました。

先日、地区大会1日目の記念チャリティゴルフ大会の写真です。皆さんにもご購入頂いた赤いTシャツを着用し、ゴルフプレーの中でlonチャレンジを行い、ポリオ募金活動を行いました。このようなたくさんの方々の活動を無駄にしないためにも、今年度8月の例会の委員会報告でお話させて頂いたポリオプラス・ソサエティについてご説明させて頂きます。ポリオプラス・ソサエティはポリオ根絶の道です。ポリオプラス・ソサエティは国際ロータリーのポリオ根絶活動を支援する重要なプログラムです。会員の皆様の継続的な支援によりポリオのない世界の実現に向けて大きな一歩を踏み出します。ポリオプラス・ソサエティの目的は資金の安定化：ポリオ根絶活動に必要な資金を安定的に確保します。継続的な支援が重要です。活動の拡大：より多くの地域でポリオ予防接種を実施できる活動範囲を拡大します。啓発の促進：ポリオ根絶の重要性について社会全体の理解を深めます。寄付の影響力としては、100ドルの寄付から始まります。小さな一歩が大きな変化を生みます。皆さんの一つの決意が結束して大きな変化を生みます。寄付額が2倍になります。ロータリーの拠出金の2倍がゲイツ財団より上乘せされる対象となり影響力が倍増し多くの支援が可能となります。ゲイツ財団はビル&メリンダ・ゲイツ財団と言い、世界ポリオ根絶活動のパートナー団体の一つです。他にはユニセフ、WHO、米国疾病対策センターなどの団体があります。ポリオ根絶活動で集められた資金がポリオ根絶活動に直接活用されます。世界中の子供たちを守ります。参加方法は毎年100米ドル以上の寄付を約束しますと決意を頂き、ポリオプラス・ソサエティ参加申込書に記入頂きクラブ事務局または地区財団に提出し、委員会報告ののち、クラブの皆様には参加申込書をFAXで送信させて頂きました。現在、当クラブでは28名のポリオプラス・ソサエティの決意を頂き、1名のポールハリス・ソサエティの決意を頂いております。決意頂いた方、本当にありがとうございます。決意頂いたのち寄付の方法は現金、クレジットカード、銀行振込等の方法があります。現金はクラブや地区の行事で寄付できます。納付書にポリオ

プラス・ソサエティの使途としての指定をして頂き100ドル以上を事務局へお支払いをお願いします。そして毎年ポリオが根絶されるまでこの目的を持った寄付をお願いします。決意頂いた方で今日お支払いできる方は事務局までお願いします。お支払いについて詳しい説明は山岸さんをお願いしております。山岸さん、よろしくお祈りいたします。次にメンバーの特典としてポリオプラス・ソサエティをお約束して頂いた方には貢献を証明する登録証と特別なピンバッジを受け取って頂きます。寄付の累計額に応じて各種認証があり、皆さんの貢献が称えられます。ポリオ根絶は目の前です。世界中の国々が困難に直面している今、各国政府とパートナー機関は人類唯一根絶した疾病である天然痘に続き、ポリオを史上2番目に根絶する疾病とするため一丸となって取り組んでいます。ポリオ根絶まであと少し。ロータリーとWHOが世界ポリオ撲滅推進活動を立ち上げた1988年から現在までの活動が無駄にならぬよう皆様の善意をお願いします。ポリオ根絶まであと少しです。こちらの動画をご覧ください。

～～～動画視聴～～～

ポリオの少ない世界へ皆様の貢献が鍵です。ポリオプラス・ソサエティへの参加はポリオのない世界を実現するための重要な一歩です。皆さんの継続的な支援が子供たちの未来を守ります。まだ参加を決意されていない方、期限はございません。協力頂ける方はお願いします。どうかご理解頂き、ポリオプラス・ソサエティへのご協力をお願いいたします。拙い説明でしたがご清聴ありがとうございました。